

海津に野菜冷蔵施設

J A全農、3県分を保管



全国農業協同組合連合会（J A全農）は、加工や業務用の野菜を一時的に保管する冷蔵施設「J A全農中部広域青果物センター」を、海津市平田町仏師川に開設した。主に岐阜、三重、滋賀の3県で収穫した野菜を保管する予定で、県域をまたいで利用する冷蔵施設は全国でも初めてだという。

完成した「中部広域青果物センター」＝海津市平田町仏師川

8日は現地で式典があり、関係者が完成を祝った。

量販店で販売するカット野菜や総菜、冷凍食品に加工する野菜の需要は近年伸びており、全体の約6割に及んでいる。同センターで一時的に3県の野菜を保管することで、収穫時期と業者の需要がある時期を調整し安定的に供給できるほか、遠方の産地との中継地点として野菜を保管することも可能になる。

施設は平屋で床面積は1120平方メートル。4室あり、コンテナ約1200個相当、420トンを保管できる。湿度を調節する機器や消臭装置も整備した。事

業費は約2億2千万円で、国の補助などを活用して建設。稼働は13日から。

式典では、施設を管理運営するJ A全農岐阜県本部の山内清久運営委員会会長が「センターの活用がさらなる生産振興になることを願う」とあいさつし、関係者がテープカットした。

（小田香緒里）